



Pack
8

Ferrari

250 GTO



Ferrari

250 GTO

組み立てガイド

STAGE 29	リアサスペンション・右	P.113
STAGE 30	シャーシ	P.117
STAGE 31	フロントホイール・右	P.121
STAGE 32	フロントホイール・右②	P.125



リアサスペンション・右

右側のリアサスペンションを組み立てる。写真をよく見て、注意深く作業していこう。



ネジG×3



ネジH×4



パーツリスト

29-1 ショックアブソーバー

29-2 リアアクションストラット

ネジ類

ネジG (P2.0 x 8mm) ×3 (1本は予備)

ネジH (P2.3 x 10mm) ×4 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 29

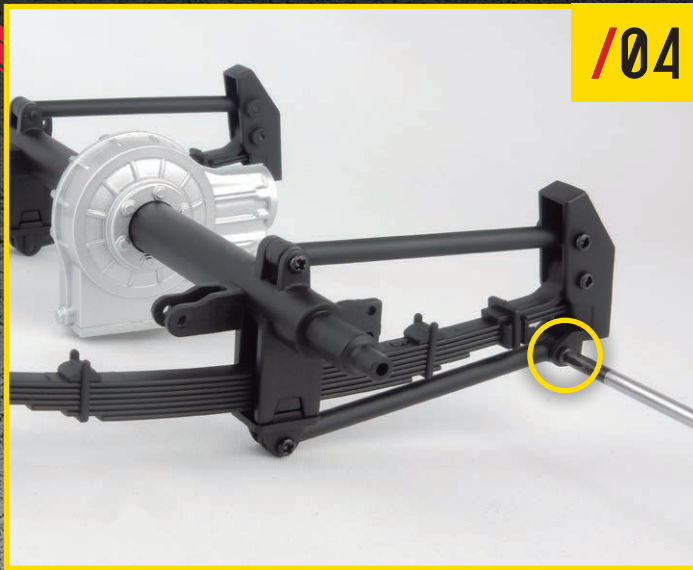


STAGE 28 で組み立てたアクスルシャフトを用意する。29-2(リアクションストラット)の1つを、写真のように右側リアリーフスプリングに取り付ける。

ネジH 2本で固定する。



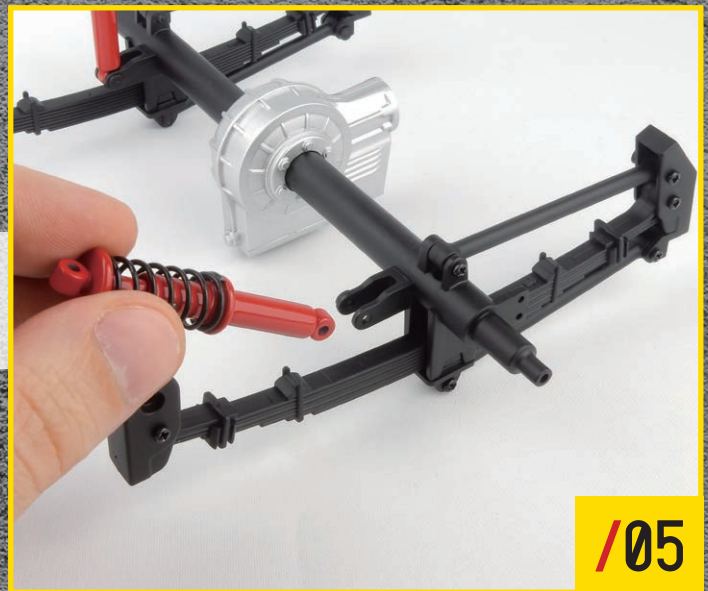
写真のように、残りの29-2(リアクションストラット)を置き、ネジGでスプリングの中央ブラケットに固定する。



/04

ネジHで、29-2(リアクションストラット)をスプリングの前部ブラケットに固定する。

写真のように29-1(ショックアブソーバー)をアクスルシャフトの右半分に取り付ける。

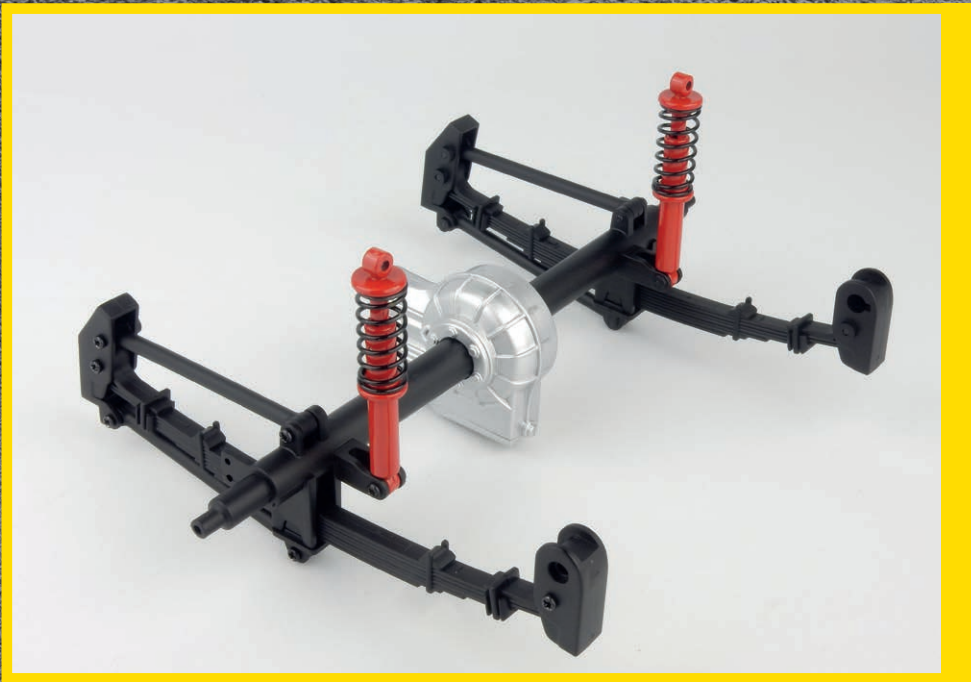


/05



/06

ネジGで固定する。



STAGE 29 の完成

右側のリアサスペンションが仕上がった。

シャーシ

今回は、リアアクスル シャフトをモデルのシャーシに取り付けます。いつものように、私たちの指示と説明の写真に注意深く従ってください。



ネジB×7

30-1

パーツリスト

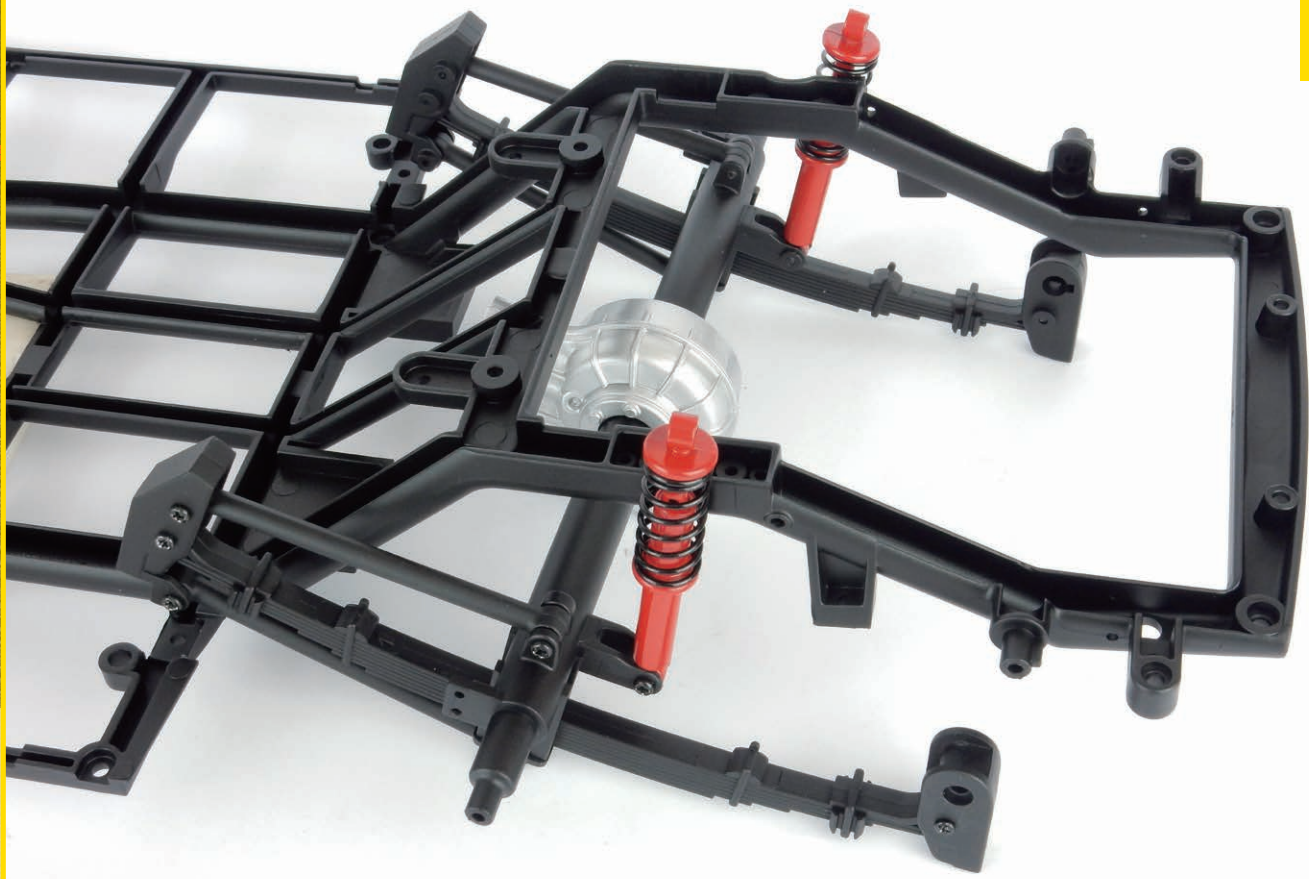
30-1 シャーシ

ネジ類

ネジB (P2.3 x 5mm) ×7 (1本は予備)

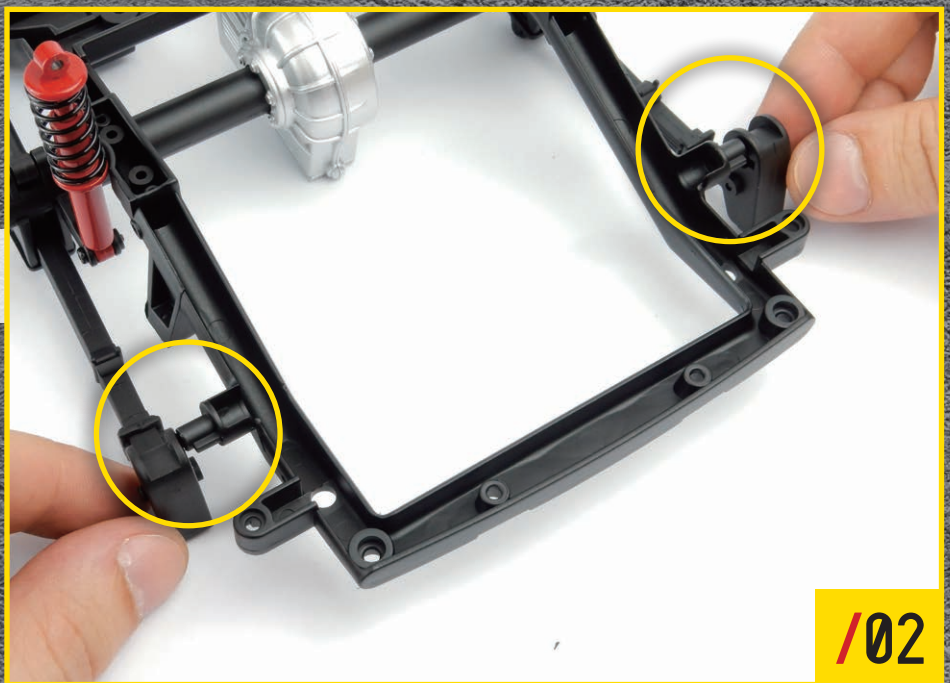
ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01

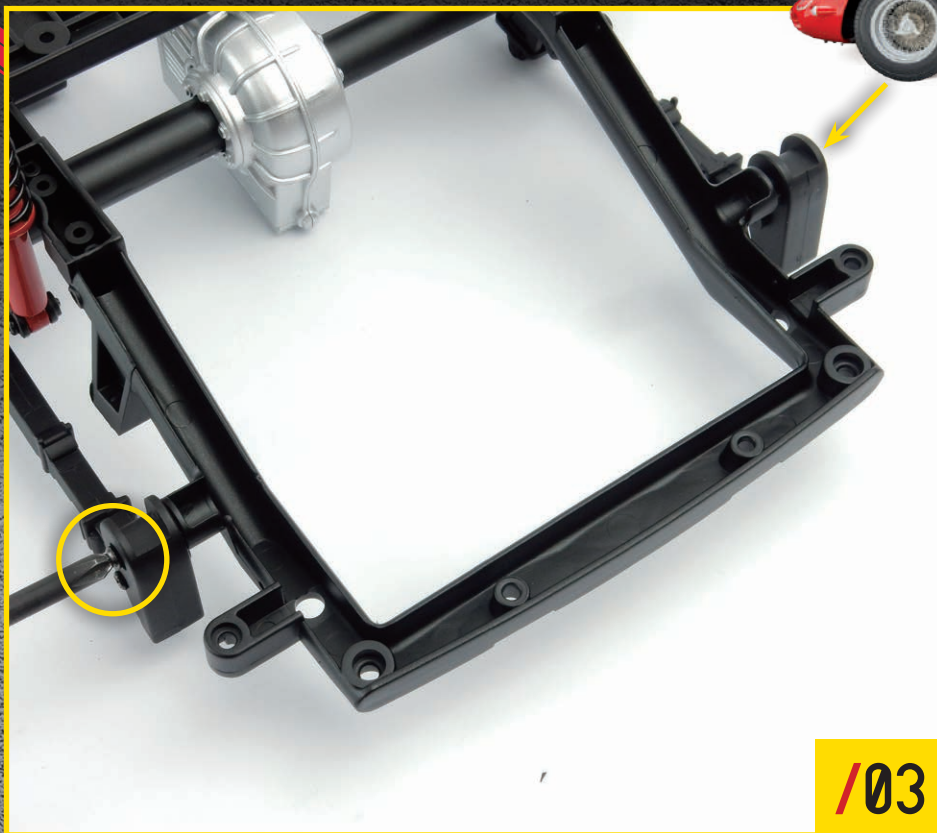


これまでに組み立てたリアアクスルシャフトを用意し、写真のようにシャーシにはめこむ。

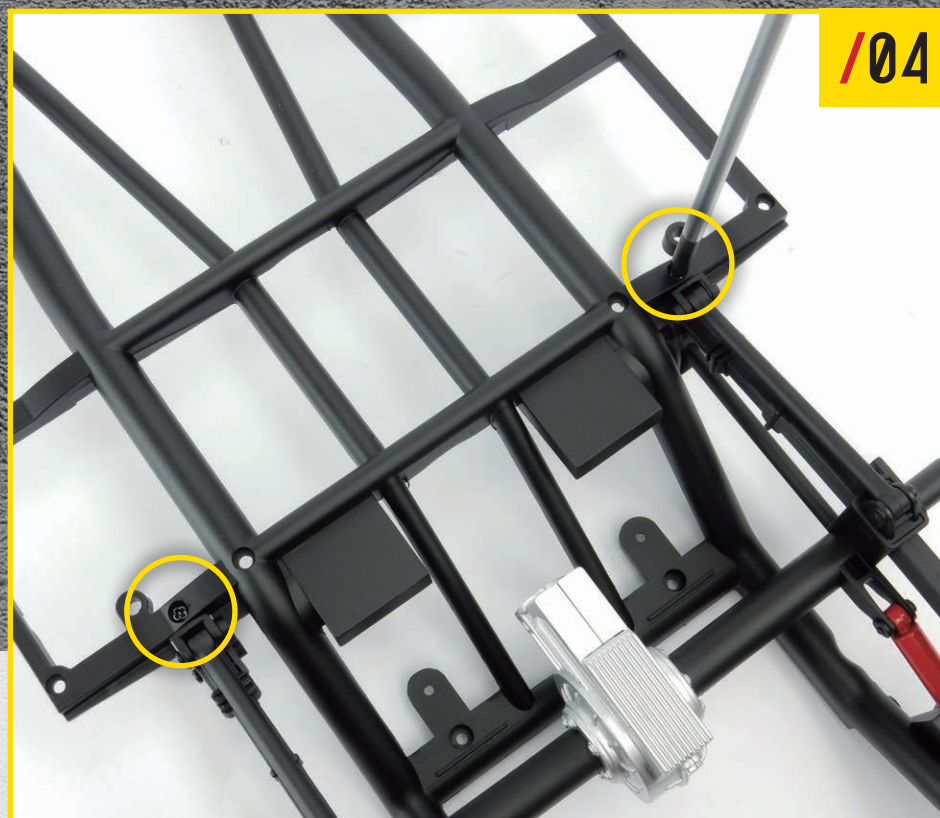
リーフスプリングのブラケットの穴をシャーシのスタッドにつなぐ。



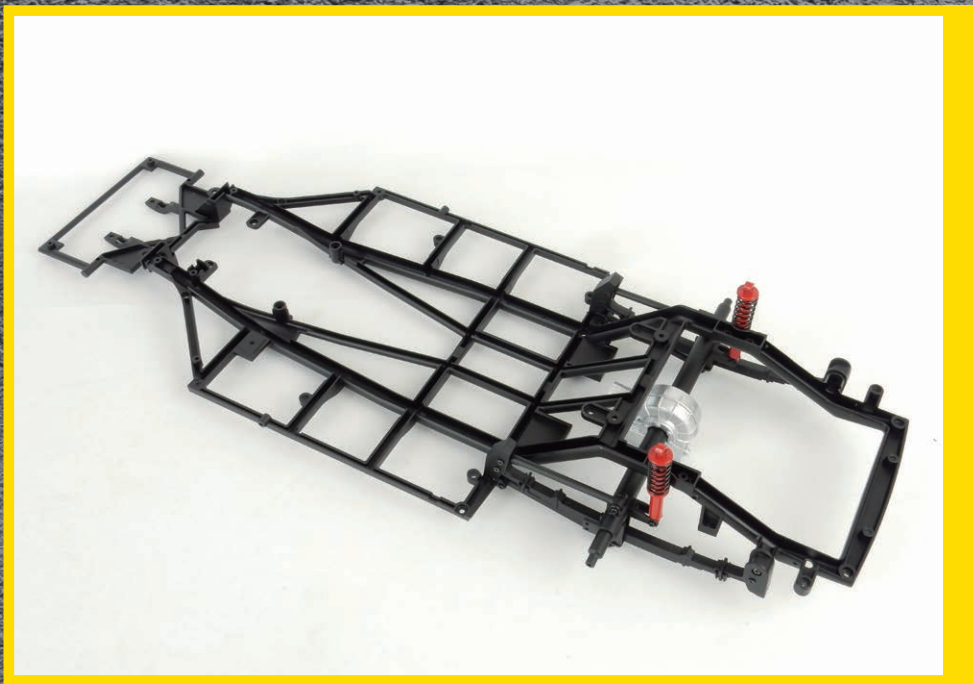
/02



ネジB2本で、リアブラケットをシャーシに固定する。



裏返して、ネジB2本を写真に示されている穴にねじ込む。シャーシをリーフスプリングの前部ブラケットにも固定する。



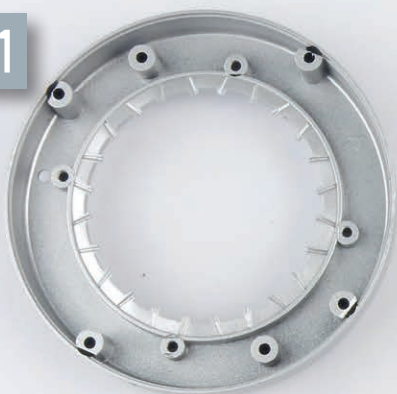
STAGE 00 の完成

リアアクスルシャフトがシャシーに組み込まれた。

フロントホイール・右

右側のフロントホイールの組み立てを始めよう。組み立ては作業は数回にわたって続けていく。

31-1



31-2



31-4



31-5



31-6



31-7



31-3



パーツリスト

31-1 インナーホイールリム

31-2 スポークハウジング

31-3 タイプ Aハブ

31-4 タイプ Bハブ

31-5 タイプ Cハブ

31-6 タイプ Aスポーク×13 (1本は予備)

31-7 タイプ Bスポーク×13 (1本は予備)

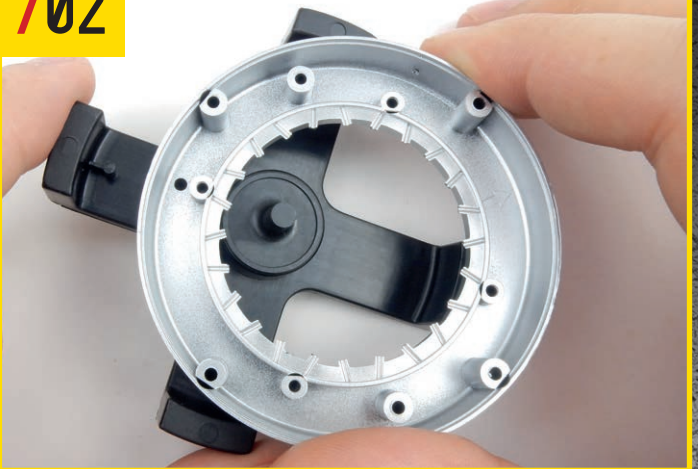
ポイント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 31

/01

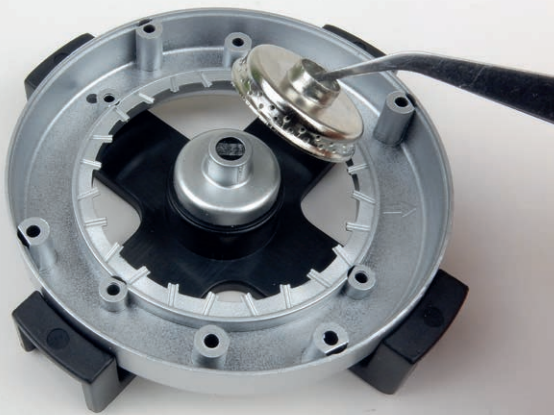
STAGE 20 に付いていた 21-1 (組み立てジグ) と 31-1 (インナーホイールリム) を用意する。ジグには小さな固定スタッドがあり、ここにインナーホイールリムの穴を合わせる。

/02



21-1 (組み立てジグ) のスタッドを 31-1 (インナーホイールリム) にはめこみ固定する。組み立てを始める前に、両面テープを小さく切って、21-1 (組み立てジグ) の中央スタッド四隅に貼り付けておくとよい。次にハブを所定の位置に置くときに安定させることができる。

/03



31-4 (タイプ B ハブ) を 21-1 (組み立てジグ) の中央スタッドに配置する。写真のように置いたら、その上に 31-3 (タイプ A ハブ) を合わせる。

スポークを置いていく作業の前に、31-1 (インナーホイールリム) の内側に、小さく切った両面テープをいくつか貼り付けよう。こうしておけば、スポークを所定の位置に留めておくことができる。

※両面テープはホイールから外側にはみ出さないように注意する。

/04





/05



31-7(タイプ Bスポーク ※タイプ A スポークより短い)を、31-3(タイプ Aハブ)下の穴にフックのついた端を挿入して取り付ける。スポークのまっすぐな端の方を、31-1(インナーホイールリム)のノッチに置く。すべてのタイプ Bスポークの両隣りにある穴は空いたままだ。

写真のように正しく取り付けられているかどうか、確認しておく。

/06



/07



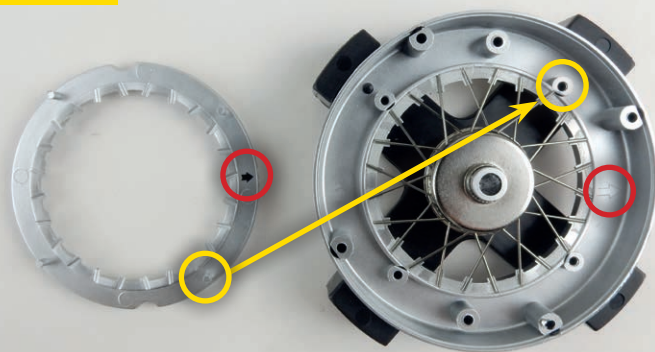
31-6(タイプ Aスポーク)のフックのある端を、31-7(タイプ Bスポーク)のすぐ左上にある穴に挿入していく。写真を見て、Aスポークのもう一方の端をどこに配置するかをよく確認する。各スポークの間には穴が空いている。

/08



すべてのスポークが正しく取り付けられると、写真のように仕上がる。

/09



最後に、31-1 (インナーホイールリム)の内側にスポーク 31-2 (スポークハウジング)を取り付ける。写真の矢印のように正しく合わせよう。



STAGE 4 の完成

右側のフロントホイール。次に組み立てるときまで大切に保管しておこう。

フロントホイール・右②

右側のフロントホイールの組み立てを続けよう。写真をよく見て、注意深く進めていこう。

ネジB×3



32-1



32-2



パーツリスト

32-1 スポークハウジング ②

32-2 タイプ Aスポーク×13 (1本は予備)

ネジ類

ネジB (P2.3 x 5mm) × 3 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 32

/01



STAGE 32 で組み立てたフロントホイールを用意する。まずスポークハウジングの側端に小さく切った両面テープを貼り付けよう。

32-2(タイプ A スポーク)のフックの付いた端を、ハブの残っている下側の穴に挿入する。A スポークのまっすぐな端の方を32-1(スポークハウジング)の端対応するノッチ(両面テープが貼られている箇所)に配置する。写真のようにA スポークを正しく置く。

/02



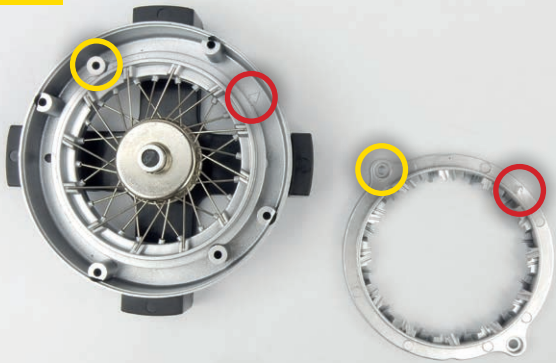
タイプ A スポークがすべて、写真のように正しく取り付けられているか確認しよう。

/03





/04



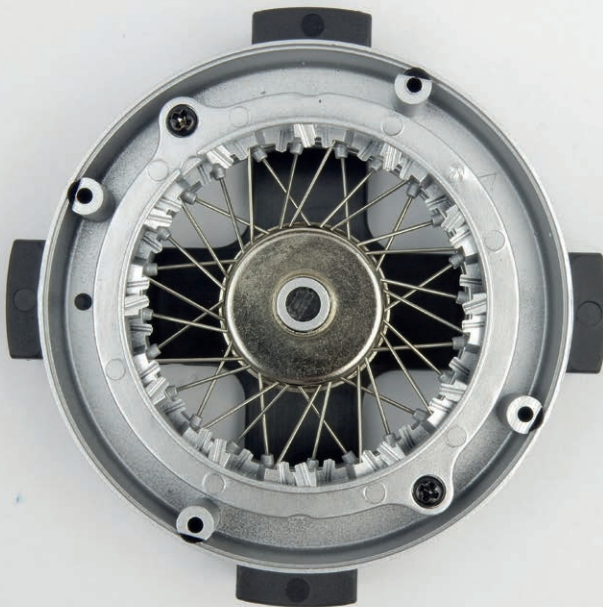
32-1 (スポークハウジング②) を用意し、写真のように正しく合わせる。

2本のネジ Bで固定する。

/05



/06



すべてのパーツが正しく取り付けられたか確認する。



STAGE 02 の完成

右側のフロントホイールがここまで仕上がった。他のパーツとともに大切に保管しておこう。

※保管パーツ：31-5 タイプCハブ